

平成２７年度 文部科学省  
「総合的な教師力向上のための調査研究」委託事業

## 「教師塾の拡充」

### 成果報告書



福岡市教育委員会

## I 福岡市における課題

### ○ 講師の資質・能力向上の必要性

任用されている常勤講師及び非常勤講師については、児童・生徒や保護者から教諭と同等の資質・能力を要求されており、今後講師の指導力をいっそう向上させる必要がある。しかし、各学校現場では近年の新規採用教諭の校内研修に要する時間で余裕がなく、特に、新卒講師及び講師が初めての者には、十分な研修が確保されづらい状況にある。

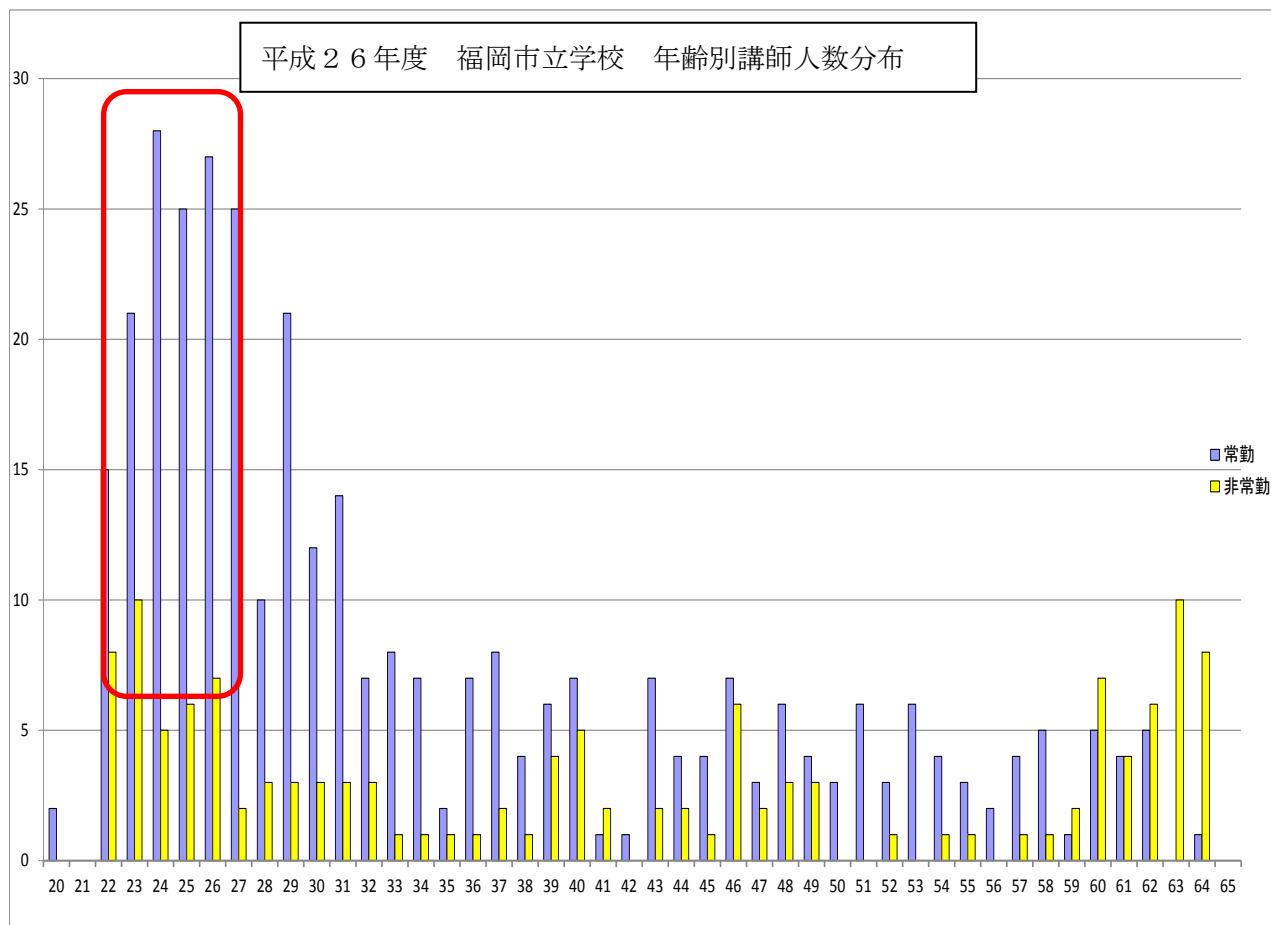
### ○ 教員採用試験志願者の減少・志願倍率の低下

福岡県が教員採用数を大幅に増やした影響もあり、本市教員採用試験の志願者数は大きく減少している。(H25 2,123 人 → H26 1,869 人(小・中・特支合計))これに伴い、志願倍率は小学校教諭で 5.2 倍から 4.3 倍に減少するなど、資質ある優秀な人材の確保が困難となりつつある。

### ○ 講師数の逼迫

近年の大量採用の結果、講師経験者の多くが正規教員として採用された一方、講師登録者の人数が減少の一途を辿っており、講師確保のため一層の対策を講じる必要がある。(臨時教員採用試験の志願者数 H23 1,429 人 → H24 1,384 人 → H25 1,303 人)

特に 2 学期以降の配置については、各学校現場からの要請に十分に追いつかない状況が生まれている。



福岡市公立学校 講師数 (H25 年度実績)					
校種別		小	中	特支	計
常勤講師	○県費 (定数欠)	154	171	113	438
	○県費 (休職代理)	19	9	3	31
	○県費 (産休代理)	24	8	2	34
	○県費 (育休代理)	72	34	14	120
	○県費 (病休代理)		1	3	4
	○県費 (介護休暇代理)	1			1
	○市費 (小 4 少人数学級)	16			16
	小計	286	223	135	644
非常勤講師	○市費 (学習指導等支援補充)	58	34		92
	○市費 (初任研代理)	11	7	5	23
	○市費 (少人数指導支援)	17			17
	○市費 (専科指導支援 (一部教科担任制))	24			24
	○市費 (中 1 少人数学級補充)		18		18
	○市費 (不登校対応教員補充)		23		23
	○市費 (免許外教科担任解消)		18		18
	○市費 (その他)		3	2	5
	○県費 (病休代理)	9	13		22
	○県費 (その他)	2			2
	小計	121	116	7	244
常勤・非常勤合計 (人)		407	339	142	888

## Ⅱ 目的

- 福岡市立学校教員を志願する者（常勤講師及び非常勤講師）に対し、教員としての服務・倫理や具体的な指導方法等を学習する機会を提供し、教員としての資質・能力を高めることを目的とする。
  - ・教師塾の企画、運営に関する調査
  - ・受講者研修に対する意識著差及び変容の高まりの追跡調査
  - ・次年度以降の教師塾のあり方の検討

### Ⅲ 調査研究の実施計画

#### 平成26年度

- 10月 福岡市立学校教員養成塾 実施に関する検討
- 12月 福岡市立学校臨時教員（講師等）採用候補者選考試験にてアンケート実施
  - 1月 文科省「総合的な教師力の抜本的な改革」調査研究委託事業応募
  - 3月 委託事業決定

#### 平成27年度

- 4月 福岡市教育センター事業説明会で所属長に説明
- 5月 教師塾に係る他都市視察（京都市・堺市）
  - 【視察・聞き取り内容】
    - ・教師塾受講の対象者及び内訳等
    - ・研修の時期及び時間等を含めた運営面全般
    - ・講師陣の概要
    - ・成果及び今後の課題等
- 7月 福岡市立学校教員採用候補者選考試験可否通知時に、案内を通知  
※受付期間（10月～11月初旬）
- 8月 平成27年度福岡市立学校教員養成塾 研修内容の検討及び協議
  - ・教育センターと教職員課で協議
- 9月 同上
- 10月 養成塾講師選定及び依頼
  - ・退職校長を中心に依頼（登録予定者 約50名）
- 11月 福岡市立学校教員養成塾募集締切  
申込希望者に詳細を連絡
- 12月 福岡市立学校臨時教員（講師等）採用候補者選考試験  
教員養成塾説明会（講師対象）
- 1月 教育センター指導主事による、研修内容の検討  
開講式及び第1回福岡市立教員養成塾実施  
第2回福岡市立学校教員養成塾実施
- 2月 第3回福岡市立学校教員養成塾実施  
第4回福岡市立学校教員養成塾実施
- 3月 第5回福岡市立学校教員養成塾実施・閉講式  
研究の総括

#### IV 調査研究の実際

##### 1 教師塾開講まで

###### (1) 状況分析

※平成26年12月福岡市立学校臨時教員（講師等）採用候補者選考試験にてアンケート実施

福岡市教育センターにおいて、平成27年度より、「福岡市立学校教員をめざす方」を対象とした研修講座を実施する予定です。

現在、実施に向け準備を進めているところですが、全体的な状況や傾向を事前に把握した上で開設したいと考えています。

つきましては、アンケート（裏面）をとりますので、回答の上、提出のほどよろしくお願いします。

#### 講座の概要（予定）

##### 1, 受講資格, 条件（以下の（1）（2）のいずれにも該当する者）

（1）福岡市立学校臨時教員（講師等）採用候補者選考試験（平成27年12月に実施）を受験する意思のある者（免除者も含む。）

（2）平成28年7月～8月に実施する福岡市立学校教員採用候補者選考試験を受験する意思のある者。

※実習助手、養護助教諭、栄養士代理職員は、対象外とする。

##### 2, 内容：服務関係, 学習指導, 生徒指導, 人権教育 等（予定）

学習指導・生徒指導や教育法規など、指導上必要となる指導スキルを高めるとともに、現場で勤務する上での不安を払拭することを目的としています。

##### 3, 受講料：不要

##### 4, 期間・回数：平成27年12月～平成28年5月

計10回（月2回のペース）（予定）

##### 5, 講習日：毎月第1・第3土曜日を原則とします。

※ただし、12月は第2・第4土曜日

##### 6, 講習時間：午前中2時間（9：00受付，9：30～11：30）

##### 7, 修了認定等について

○ 良好に研修を受講し、修了を認定された者には、「修了認定書」を授与します。

##### 8, 今後の日程（予定）

○ 平成27年 5月 福岡市立学校教員採用候補者選考試験説明会において、説明会出席者へ案内

7月 1次試験受験者へ再度案内

10月 募集

11月 受講者決定

12月 開講式

平成28年 5月 閉講式

1	教員採用試験受験予定の 校種	1 小      2 中      3 特 4 高
2	教 科 (中・高・特支中・特支高のみ)	
	本市の講師経験 <u>月</u> 数(累計) (常勤・非常勤を問わない)	1, 12月未満 2, 12月以上24月未満 3, 24月以上 *平成27年3月31日付
	受講資格があると仮定した場合, 研修講座の受講を希望されますか?	希望する      (    ) 希望しない    (    ) 未定            (    ) *いずれかに○を付けて下さい
5	身につけたい力や知識, 学びたいこと	
6	ご意見・要望等	

※記入上の注意

- 1 教員採用試験受験予定の「校種」の番号に○をつけて下さい。  
(例: 小=小学校 中=中学校 高=高等学校 特=特別支援学校 )
- 2 受験予定の「教科」を記入して下さい。  
中・高・特(中等部・高等部)のみ記入して下さい。
- 3 福岡市での講師歴月数(累計)の番号に○をつけて下さい。
- 4 研修講座が開設された場合, 受講希望の有無等, いずれかに○を付けて下さい。
- 5 自分が身につけたい力や知識, 学びたいことを列挙して下さい。
- 6 研修講座についてのご意見・要望等を記入して下さい。

\*アンケートは, 目的以外に利用することはありません。

## 1. 受講希望について①(全体・校種別)

	全体	小	中	特	高
希望する	541 (67%)	220	257	58	6
しない	40 (5%)	13	22	4	1
未定	230 (28%)	77	120	28	5
計	811	310	399	90	12

\*全体の約7割が希望している。

\*未定の者が受講した場合を含めると約85% (770人) になる。

未定の者の5割が参加すると仮定すると650名程度の受講が予想される。

\*小の約70%, 中の約65%, 特支の約65%, 高の50%が希望している。

\*中学校は、部活動のことを理由に未定にしているものもいる。

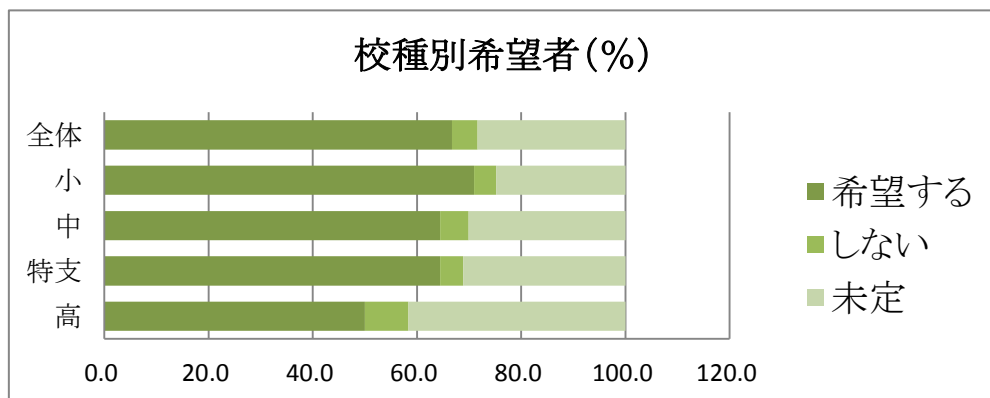
## 2. 受講希望について②(全体・経験月別)

	全体	12月未満	12月以上	24月以上
希望する	541 (67%)	357	72	142
しない	40 (5%)	10	5	25
未定	230 (28%)	110	28	92
計	811	477	105	259

\*12月未満の約75%が希望している。24月以上の者も約55%が希望している。

\*希望者の内、12月未満の者が約65%占める。

これは、講座内容が関係していると考えられる。



## 3. 「身につけたい力や知識, 学びたいこと」について

	1 学習指導	2 生徒指導	3 特活・道徳 (含 人権)	4 特支教育	5 教育相談 (いじめ問題 不登校等)	6 教育課題 (保護者対応等)	7 職務・サービス	8 法規 教職教養等	9 その他
小	195	100	79	32	19	49	20	3	15
中	207	215	99	21	20	42	25	17	19
特		23	17	52	5	14	3	7	7
高	8	7	2	2	1	1	1	0	0
計	410	345	197	107	45	106	49	27	41

\*どの校種も、学習指導や生徒指導が多い。

学習指導は、校種や経験月により、希望内容が多岐にわたっている。

生徒指導は、中学校で多く見られる。

\*特活、道徳の中で、「人権教育」を回答する者が多い。

\*教育課題は、「保護者対応」を回答する者が多い。

\*受験対策を望む者が若干名見られる。

#### 4. 意見や要望について

##### 【開設に関すること】

- ・このような機会を与えていただきありがたい。
- ・現場と研修内容で差があるのであればやめたほうがいい。
- ・月2回程度だと参加しやすい。
- ・部活動の大会等を考えると参加できないので平日にしてほしい。
- ・部活動のことを考えると、夕方以降にしてもらいたい(夜間など)。
- ・HPで日程などを公開してほしい。
- ・月1で、かつ、午後が受講しやすい。
- ・月2回は同じ内容だと参加しやすいのでは。
- ・月2ではなく、朝夕の2というようにならないだろうか。
- ・27年度の4月から開設してもらいたい。
- ・月2回午前より、月1回終日のほうがよい(参加しやすい)
- ・長期休業中に実施してほしい。
- ・市政便りなどに掲載してほしい。

##### 【受講資格に関すること】

- ・受講したい講座だけの受講はゆるされるのか。
- ・福岡市街在住者に資格はあるのだろうか。
- ・学校行事と講習が重なった場合どうなるのか知りたい。
- ・福岡市以外で(私立等も)講師をしている人にも資格がほしい。
- ・この修了書＝やる気にならないか心配である。(土曜日に学校で仕事をすることがあるので)
- ・希望者全員を受講させてほしい。
- ・定員はあるのだろうか。

##### 【手続きに関すること】

- ・早めに日程を教えてください。
- ・研修内容がわかってから希望を考えたい。
- ・出張になるのか(勤務形態をしりたい)

##### 【会場に関すること】

- ・公共の交通機関が使える会場にしてもらいたい。
- ・毎回異なる会場での開催を望む。
- ・車で通えるようにしてほしい。

##### 【講習内容に関すること】

- ・現場の教師と話す機会を設けてもらいたい。
- ・すぐに使える知識について学び合い。
- ・校種毎に研修をしてもらいたい。
- ・小グループで研修したい。
- ・試験免除のカリキュラムを組んでほしい。
- ・現場で指導される先生の生の声を聞きたい。
- ・保護者との関わり方を学びたい。
- ・即戦力となる力を付けたい。
- ・資料がもらえる(ダウンロードなど)ようにしてもらいたい。
- ・試験対策はあるのだろうか。
- ・録画撮影などで、再び見返すことができるようにしてほしい。
- ・新任の不安を取り除く、とてもいい対策だと思う。
- ・知識ではなく、実態を学びたい。
- ・試験対策を徹底的にほしい。
- ・面接試験でのアドバイスがほしい。
- ・成績の出し方など細かいことを学びたい。(現場に出て困らないように)
- ・言語活動の内容で研修してもらいたい。
- ・教育現場での研修もしてほしい。
- ・レポートの提出は少ない方が助かる。
- ・講義型よりもワークショップ等参加型にしてほしい。



- ・実際の授業を参観できると参考になると思う。
- ・講習に加え、得たものをアウトプットする機会があればと思う。
- ・テーマ別に受講できるようにしてほしい。
- ・1回単位でも受講できるとうれしい。
- ・学校現場でどのような課題がありどのように解決しているか知りたい。
- ・キャリア別の研修をしてほしい。
- ・いろいろな立場の講師を招いてほしい。
- ・出産育児等でブランクがある人のための内容も考慮してほしい。
- ・グループ討議の時間も入れてほしい。

#### 【出席や認定の取扱に関すること】

- ・欠席は何回まで許されるのでしょうか。
- ・修了認定を受けることのメリットがほしい。
- ・この研修を受けた者が採用に有利になるようなことにならないでほしい。
- ・同上(生活のためアルバイトを土日に行っているから)
- ・採用試験に影響があるのか。E場所は固定か。
- ・部活動の公式試合と重なったときはどうしたらいいのだろうか。
- ・講座を受けることを、学校側にも理解してもらう必要性を感じる。学校に周知してもらいたい。
- ・参加できない場合があるので、補講してほしい。

- \*開設に対して、賛同する意見が多い。
- \*採用試験との関係を憂慮する意見も見られる。
- \*部活動との調整を心配するものが中学校に多く見られる。
- \*講義型よりも、ワークショップ型の参加型研修を、また、理論よりも実践的な内容が望まれている。
- \*認定書の取扱を心配する声もある。
- \*HPの活用など、連絡の方法についての意見が見られる。

希望校種教科等	学級経営	学習指導	生徒指導	その他
小	「わかりやすい目標の設定の仕方」「規範意識を徹底するには」ということを特に学びたいです。	「授業構成力」「授業解釈をすばやくしていく力」「教材研究をして指導案を作成する力」をつけたいと思っています。	事実関係の調査、確認の仕方が気になります。	子どもたちのために力をつけていきたいので、宜しくお願い致します。
小	各学年での級訓のつくり方。学級開きでおさえておくべきこと、話す内容。四月に準備しておくこと。席がえの仕方。特支を要する児童を軸にどのように学級経営をするか。	各教科ごとの板書。発問の仕方。間や抑揚のつけ方。	特別な支援を必要とする児童との接し方。低・中・高学年における指導の仕方。信頼関係ができていない児童への注意の仕方。	クレーム対応。保護者対応の仕方や気をつけておくべきところ。最初の懇談会での内容について学びたいと思っています。
小	現在小学2年生の担任をしておりますが、支援を要する児童に充分支援ができておらず、生活面・学力面で遅れが目立っています。どのように関われば、集団生活に適応できるようになるのか悩んでいます。	国語科において言語活動を中心とした授業の仕方、発問や板書のポイントについて学びたいと思っています。また、すべての子どもに目を配り、個に応じた支援的な活動の準備とは、具体的にどのようなものなのか知りたいです。	特に、成長を促す指導、予防的な指導の在り方について学びたいと思います。	望ましい教室環境を作り出すコツなどがあれば聞いてみたいと思います。
小	特支での学級担任経験しかないので、通常級での学級経営には少し不安もあります。どういった視点を持ち学級を経営していくべきなのかを学びたいです。	クラスの中でも学力の二極化が観られることがあるようです。全員の学力を向上させていくための手段を学んでいきたいです。	生徒指導を通して、子どもたちに身に付けさせるべきスキルを知りたいです。気になる子への効果的なアプローチの仕方を知りたいです。	
小	学級のルールや、学習中のルールは教師が示すべきか、子どもと一緒に一から作るべきか悩んでいます(高学年)。休み時間など、授業中以外の子どもたちと接する時間がうまく取れない場合、いかに他の場面で子どもたちの友人関係や状況を把握できるか学びたい。	特別な支援が必要な子どもを、学習中に孤独にさせず、周りの友人たちと一緒に「できた!」と思わせる授業づくりについて。子どもたちの発言や、必要性などを感じたところから学習のめあてを立てたいが、発問等がうまくいかず結局教師がめあてを示してしまう。	掃除の指導について。特に高学年に対して、自らすすんでやることと、掃除の意義の理解の定着について学びたい。相手の容姿や学力、家庭の事情等をからかう場面があったとき、人権の視点からも、絶対に繰り返すことのないような指導について学びたい。	特別活動や総合的な学習の時間の授業について、具体的な実践例を見ながら学びたい。
小	ほめ方、叱り方について学びたい。特に場面や状況に合わせたほめ方を学んで実践していきたい。	子どもが自ら学ぶことの出来る授業づくりについて学びたい。個別の支援が必要な子への支援の仕方。	叱り方、叱った後からのどのように話をすすめて子どもに「やろう」という意欲を持たせられるか。	
小	QUから見た集団の中の個々の児童へのかかわり方について学びたい。	学習規律の定着について学びたい。		
小	今はまだ学級担任を受け持ったことがないので具体的な悩みはありません。ですが、そうすれば子ども達が毎日楽しい学校生活を送ることができるのか知りたいです。	既に学習塾などで内容を知っていること既習の積み重ねもうまくいっていない子と、どちらも学習に夢中になれる方法。難しいですが、これだけは必ず守らなければいけないこと等、何か手がかりになることを教えていただきたいです。	友達とけんかばかりを起こす子どもへの正しい対処法を知りたいです。	色々と欲張って書いてしまいましたが、今一番学びたいことは生徒指導についてです。5日間よろしくお願いします。

希望校種教科等	学級経営	学習指導	生徒指導	その他
小	メリハリのある学級にしたい。学習規律などを徹底し、子どもたちが自ら休み時間と学習時間でスイッチを切り替えるような学級にしたい。	毎時間の学習でもっと子どもたちに課題意識を持たせたい。子どもたちの考える力をもっと引き出すような発問ができるようになりたい。	子どもたちの中に規範意識をしっかりと持たせるような指導を身につけたい。	
小	ご家庭が協力的でない場合、どのようにコンタクトをとっていくことがのぞましいでしょうか。クラスにとっても配慮を要する児童がいた場合の声のかけ方や指導の仕方(LD、ADHD傾向やかん黙症)また、保護者が気付いていない時、どのような声かけがよいのでしょうか。	発達にばらつきがあって、どうしても算数が難しい等ある教科だけが落ち込んでいる児童への対応の仕方。集中が続かず、声を出したり立ったりで他の子への影響がある場合。	情緒の安定が保てず、周囲をいやな気持ちにさせるような言葉や行動が出る児童に対して。「がいじ」発言があった場合の対処の仕方やその後気をつけていくべきことについて。	職員間の協力や一丸となって行くための良い方法等ありましたらお聞きたいと想います。段取りよく一日を過ごす方法も知りたいと想います。
小	学級目標の立て方とその振り返りについて。ひとりひとりが自尊感情、自己肯定感を持てるような取り組みについて。教室環境について。	効果的な板書の仕方とは？板書と発問のつながりについて。授業のグローバルデザイン。家庭学習を意欲的に取り組ませるには？	個人の指導を学級の指導へとつなげる方法。個人的に配慮が必要な児童に対する学級の児童の見方の形成について。	億別支援的要因があると思われる児童の保護者との連絡の取り方。
小	ルールの決め方(4月においての、係などの決め方なども)。保護者対応(連絡帳等も含めて)。同学年の学級との合わせ方(どのぐらいまでを合わせたらよいか)。子どもとの関わり方。規律のある学級経営の方法。	子どもの実態に合わせるということ(実態把握)。板書のしかたや工夫(史料の提示のしかた)。教材研究のしかた。具体物を使う時の指導や使い方。授業の進め方。	トラブルが起きた時の対処のしかた。子どもの心に響く指導のしかた。	
小	よりよい人間関係や集団作りの中で重要な子どもたちの規範意識を育てていくために、発達段階に応じて、具体的にどのような経営計画を立てていけばよいのかを学びたいです(特に高学年)。	現在、特別支援学級の担任をしています。子どもたちの能力、実態、学年も様々で複式学級のために、授業も個別の対応になってしまいます。一人一人の児童に十分な指導がなかなかできず、又、個別の教材、課題作りに悩んでいます。	いじめ、不登校など、学年があがるにつれてじあんが多くなってくると思いますが、その時その学年に応じた生徒指導を学びたいです。	
小	年度初めにどのような準備しておくべきか。教室内の掲示物の内容、啓示の仕方。明るく楽しい学級の雰囲気づくりへの取り組み。	授業中の怪我・事故防止のために具体的に気をつけること。学習規律は低学年、中学年、高学年でどのように指導したらいいか。授業の組み立て方。	休みがちな子、保健室登校気味な子への対応。学習面、生活面で子どもに自主性や意欲を持たせる方法。非行などの問題が起きたときの指導。	アレルギーを持っている子への対応。
小	ルールを決めるときの注意点、どこまでこどもの自立性を重んじるべきか。効果的な実践例。反対に失則した例。担任が嫌だという理由で学級をいやがる子への対応の仕方。	低位の子、高位の子との差がはげしい場合の指導方法。プリントや宿題量などその子どもにあわせて決めた際、ズルイなどの意見がでたらどうするか。	忘れものが多い子どもの指導について。クラスのお楽しみ会などになると全く参加することができなくなる子どもの対応について。自分の気に入らないことがあったり、注意されたりすると、保健室などに行ってしまう子どもへの対応について。	朝ごはんを食べてこない。忘れ物が多い等m家庭環境が関係ある場合、どのように対処するべきか、どこまで介入してよいのか。

希望校種教科等	学級経営	学習指導	生徒指導	その他
中 国語	担任として自分の学級をみる時と、教科担任として自分の学級に行くときに、どう切り替えているのか(立ち位置や目線の変え方)。副担任としての関わり方、担任との連携を図りつつ、独自の(自分なりの)指導をする場合など、学年全体(職員間はもちろん、対生徒の中で)の立ち位置について。	学力とはなにか(何をもって学力とするのか、の学力の定義)。定期考査で問わなければ成らないものは何か(定期考査の意義、特に3年生)。学級全体で参加できる授業にするには。「めあて」と「まとめ」の対応のさせ方。	恒にフラット(冷静で一定温度を保つ)であるためには、自分をどこまで開くか、一歩引く時のライン(線引き、割り切り方)。生徒との距離の取り方(なるべく生徒の目線に近くありたい)教員それぞれのたちばや仕事の中でいろいろな立ち位置があるが、常に自分のポジションに悩みます。	本当に現場で使えるスキル(能力?技術?)を身につけたい。年齢と経験年数に差がありすぎるのが悩み。
中 社会	経営をする際に絶対に欠かさなかった取り組み。最低限守らせる心を規律(失敗例と改善例)。クラス通信(書、内容、頻度など)。くらす掲示物で工夫したこと。	規律が守られた面白い授業をするためには(生徒が発信し、テンポの良い授業)?プリントとノートを使い分け。視聴覚教材の使い方(私は毎授業10枚ほどの写真を用意しています)。評価の方法(特に発表など)。提出物(頻度:毎週or毎日?内容:基礎or応用)	教員としての言葉遣い(博多弁の使用)。叱り方とその後のフォロー(保護者への連絡)。生徒指導において、気をつけるポイント(指導を行う際に心がけていることは?)。	講師(常勤)を努めながらの教員採用試験の勉強方法。部活動の指導時間(長ければ長いほど良いか)。
中 数学	学級ルールづくりや掲示などのポイント。年間や学期ごとの目標や注意すべき点など。	教材研究を行っていく中で、自分の中の結論を見つけにくい(不安が残る)。教科を授業の中で多教科や道德教育などの結びつけを行いたい、どのように行えばいいのかわからない。今後の道德教育についてもっと知りたい。	生徒指導の力をつけるためにやっておくべきこと。生徒指導を行う上で気をつけておくべきこと。	部活動においても気をつけておくべきことがあれば知りたい。学んだことを実践して、初めて身につくものなので、現場でいかしていきたい。
中 数学	自己存在感や自尊感情を高めるためには、どのような学級経営を行っていけば良いのか。	授業を行う上でどこまで詳しく説明するか。生徒を板書で待たせることがあるので、板書をするタイミングを学びたい。	強く叱る時と諭すように叱る時の使い分けで悩んでいます。どのような基準で使い分ければ良いか。どこまで生徒に寄り添うか。	教員採用試験の一般教養の勉強方法が知りたいです。
中 理科	勤務先では2つのクラスの副担任をしています。しかし、もし、私が正規教員として採用され、クラスの担任を持った時、どのようなクラスにしていこうか、想像ができません。そこで、この養成塾では、私がクラスの担任を持った時、主たる軸となる理想を得たいです。	いかにして、一人でも多くの生徒が理科に対して興味・関心を持たせる授業を展開したらよいか、を学びたいです。	勤務先では、生徒の心に届き、生徒が心を改めるような生徒指導を行っているつもりだが、実際には、まだまだ技量不足であることを痛感しております。そこで、どのような話し方をすれば、これらの悩みが解決できるかを学びたいです。	1次試験の専門科目について、ある単元の指導方法の問題が毎年出題されていますが、その問題に対する勉強方法を知りたいです。
中 理科	勤務先では2つのクラスの副担任をしています。しかし、もし、私が正規教員として採用され、クラスの担任を持った時、どのようなクラスにしていこうか創造ができません。そこで、この養成塾では、私が暮らすの担任を持った時、主たる軸となる理想を得たいです。	いかにして、1人でも多くの生徒が理科に対して興味・関心を持たせる授業を展開したらよいかを学びたいです。	勤務先では、生徒の心に届き、生徒が心を改めるような生徒指導を行っているつもりだが、実際にはまだまだ技量不足であることを痛感しております。そこでどのような話し方をすれば、これらの悩みが解決できるかを学びたいです。	1次試験の専門科目について、ある単元の指導方法の問題が毎年出題されていますが、その問題に対する勉強方法を知りたいです。



希望校種教科等	学級経営	学習指導	生徒指導	その他
中 英語	4月に準備する物の一覧と見本、データを持っておきたい(作成して)、班分け表や専門委員の種類など。福岡市立中学校において、いつ何に気をつけておいたら良いかを把握したい(生徒が学校生活に疲れる時期・問題を起こし易い時期など)。保護者対応について、福岡市にはどのような保護者が多いのか？タイプ別対応法。	福岡市高校入試問題を知りたい、学年ごとの指導計画作成の参考にしたい。各学校ごとに、どのような指導が必要とされているか具体的に頭に入れておきたい(どのレベルに合わせ、どこまで指導するのか？)。	中学2、3年(特に反抗期)男子に効果的な指導方法。保護者招喚かどうかの基準。ケースごとの福岡市立中学校の対応方法(基準)。	価値観の異なる教職員とのコミュニケーション方法。成績処理システム任太郎？について。学校全体の各先生方の動きをわかる範囲で把握したい(家庭科の先生は給食指導で4月が忙しいなど)。
中 英語	校外での学習(自然教室や修学旅行)における、公平公正なグループの分け方を学びたいです。また、もし各方面から不満が出たときにどのように生徒へ説明してあげたら納得がいくのかなど、具体的な事例等を交えて学びたいです。	協同的に学習する授業の進め方を学びたいです。発音練習においてペアワークを行うことはありますが、英語が苦手な生徒同士のペアリングになり停滞してしまったり、全員が終えるまで時間の差ができてしまうことがあり、授業の盛り上がりどころをもっと作りたいと考えています。英語の文法や教科書本文、場面会話文などで効果的なペアワーク、グループワークの仕方を学びたいです。	給食指導について特に学びたいです。今まで副任として様々な学級の給食時間に入ってきましたが、学級の給食ルールは実にそれぞれでした。自分が担任を持った時は秩序ある楽しい給食にしたいと思っています。おかわりの仕方、ランチョンマットを忘れた生徒への指導、ごちそうさまのタイミングなど、当たり前に行われていることを良く確認したいです。	保護者対応、例えば生徒同士の人間関係によるトラブルから生じる保護者からの不満への対応、部活動でそろえて購入する道具への保護者の不満の対応などを学びたいです。
中 保体	私は担任を持った経験がないため、今回の養成塾で他の先生方がどのようなことに悩んでいるのか、また自分だったらどのように解決するのかを考え、学びたいと思います。	運動が得意な生徒とそうでない生徒との差が大きくなってきており、より積極性を引き出す工夫についてどのようなことが出来るか学びたいと思います。	問題行動の早期発見や早期対応、また問題を重度化・長期化させない効果的な指導について学びたいと思います。とりわけ、いじめ・不登校・暴力行為などの課題について理解を深めたいと思います。	今回の研修を通して教員としてのスキルアップが出来ればと思います。どうぞよろしくお願いします。
中 保体	クラスがどのような方向に向くかは、担任の指導力に左右されると考えられる。どのような段階を経て学級を形成していくと良いのかを学びたい。また、学級で問題が起きた際に、どのように指導をするとより生徒に伝わりやすいかを学び、自分の理想のクラスを作っていくことに生かしたい。	単元の内容によって、授業の見学者が増えてしまうことがある。見学者を減らすための工夫などを行っているが、怪我などのやむを得ない見学者に対する指導が十分に行うことができていないことが悩みであり、改善していきたいと考えている。どのような対応をすると効率がよく、スムーズに授業に取り組むことができるか学びたい。	生徒指導の経験があまりなく、自分自身の指導に少し不安がある。自分の生徒指導のスタイルをまだ見つけることができていないため、どのようなことに注意をして指導をするといいかを学びたい。	保護者対応の仕方や保護者とのよりよい関係づくりの方法について学びたい。
中 家庭	クラス全員が前向きな考えを持ち、明るい雰囲気になるためにはどういうふうにしたらいいか。規律が守れるメリハリのあるクラスにするためにはどういうふうにしたらいいか。	提出物や作品が最後まできちんと出来ない生徒に対しての対策。	学びたいこと:「途中で帰りたい」と駄々をこねる生徒の指導方法。「授業に出ない」とはっきり言ってくる生徒の指導方法。何回も何回も注意するとだんだん暴言を吐いてくる生徒の指導方法。	よろしくお願いします。

希望校種教科等	学級経営	学習指導	生徒指導	その他
特 小学部	特別支援学校は、複数担任制であるが、連携の仕方や上手に付き合っていく方法があれば教えていただきたいです。	自分の授業に自信をつけるにはどうしたらいいか、どのような授業を展開していく必要があるか、遅れがちな児童にはどのように対応するか、指導案の作り方やどういった教材研究をしたらいいのか、基本的なことを教えていただきたいです。	道徳にかかわる指導、例えば友達をたたいてしまった時、嫌なことを言われた時、けんかをした時の叱り方や声かけの仕方などを教えていただきたいです。	研究授業などを見る時は、どこに注目して見たらいいのか教えていただきたいです。
特 小学部	教育の効果を高めるための実践報告を見聞きし、意見交換などを行いながら自身の力を高めていきたいと考えています。不安に思っていることは、現在行っている子どもたちとの関わり方は適切であるのかということです。どのような関わり方があるのかということを学んでいきたいです。集団の中での個に対しての指導と個を中心に考えた指導の在り方についても学びたいです。	子どもたちのことをどのように把握し、効果的な手立て、支援の方法を考えていくべきかについて考え、様々な意見を聞きたいと思いました。実際に授業で使ってみた教材や指導方法など、成功例だけでなく、失敗例なども聞き、反省点や改善点などを考えていきながら現場で生かすことの出来る実践力を身につけていきたいです。	子どもの実態に応じた指導が求められる中で、現在行っている指導方法に関してお互いに報告し合い、情報交換などを行いたいと考えています。日常生活の指導においては、たくさんの種類の支援の仕方があると思います。少しでも多くの情報を得て、現場での指導に生かしていきたいです。小学校においての学年別の指導方法に関して興味があります。	「学級経営」「学習指導」「生徒指導」とは何か、という基本から考えていきたいです。どのような研修になるのかをととても楽しみにしています。研修で学んだことを現場で生かしていきたいです。
特 中学部	生徒と教師のかかわりだけではなく生徒同士のつながりやかかわりを増やし、学級としての所属感をもたせるためにはどうすれば良いか？	他の学校で一人ひとり実態が違う中で、どのような教科指導を行っているのか？（内容、教材教具）。教科指導で実態や理解度の違う生徒と一緒に授業を行うときの学習内容の選定や指導方法に難しさを感じている。	他の学校での生徒指導はどのように行っているのか？自分でできる生徒への支援のあり方。	教員による医療的ケアの実施についてこの先どのようになっていくのか学びたい。
特 中学部	前任者が担任をしていた時は教室（4F）で学習していたが、自分が年度途中に赴任した時は1階の学習室へ登校している状態。3学期から教室へ向かわせるべきか、現状で良いのか。	クラスなど大人数の場に行きたがらない児童らに対して（ADHDなど）交流授業に参加させたい。運動能力は問題なく、学級内の少人数であれば取り組めるが、本番当日や授業の時間になると「やっぱり嫌」「やめる」と拒否。どのような動機づけが有効なのか。	給食を交流学級へ自ら取りに行くことが難しい。遅くに食べたり、その日は食わずに下校することもある。食べる時も少食で好き嫌いがある状態。運動量に対して、摂取している水分・カロリーが少ない気がするが、どのまで給食の指導をするべきか。	特別支援学級の担任が初めての状態で、何を目指したら良いのか分からない。年度途中からの担任で2学期も関わりが少ない。通常のクラスでの授業を目指すのか、現状でやれることを充実させていくのか。
特 中学部(高等部)	保護者と円滑に関係が進む秘訣（教師に求められる保護者とのコミュニケーション）。複数担任における人間関係を円滑に進める方法、秘訣について学びたい。	高等部を卒業してからの進路学習における現実と課題（高等部を卒業するときに身につけておいたほうがいいのではないかなと思われる事。またそれを指導する際のポイントなど）。	性教育に関する事（特に高等部段階での指導のポイント）。いじめを未然に防止するためのポイント。数年前に知的障害の特別支援学校高等部に在籍していたとき、同じ生徒が何度か警察のお世話になったことがありました。生徒がそのような事をしないために気付くためのポイントも学んでみたい。	現在、訪問に在籍して2年目です。
特 中学部(高等部)	生徒一人一人が自分の意思を伝えようとする学校にするには、どのような環境にしたら適切か？。保護者と連携しながら一体感を持って生徒の成長を促す学級にするには、保護者への促し方をどのようにするとよいか。	LDや軽聴聴、自閉症知的障がいの子に効率がよくわかりやすい指導ができるか？。自信を損わない指導方法でどれくらいの方法があるか？	「自立」に向けた指導の促し方はどのような方法があるか？ON、OFF等のメリハリをつける指導環境は？生徒一人一人が自尊感情を大切にしたい学級づくりするには？	交流クラスでの授業を受けさせる場合、交流クラスと特別支援学級の生徒が隔たりにく交流できるような教師の支援方法はどのようにしたらスムーズにいくか？

## (2) 企画立案

### 福岡市立学校教員養成塾 実施案の作成

作成に当たっては、福岡市教育センター及び教職員課と協議の上作成した。実施案については以下の通りである。

#### ① 目的

- 福岡市立学校教員を志願する者（常勤講師及び非常勤講師）に対し、学習指導や生徒指導等における具体的な指導方法等を学習する機会を提供し、教員としての資質・能力を高めることを目的とする。

#### ② 対象等

- 受講資格、条件は福岡市立学校の講師（常勤、非常勤）として勤務した経験があり、以下の両方の条件を満たす者を原則とする。
  - ・ 平成27年12月に実施する福岡市立学校臨時教員（講師等）採用候補者選考試験に合格した者及び免除された者。
- ※ 申込後に選考試験結果が発表されるが、不合格となった場合は受講できない。
- ・ 平成28年7月～8月に実施する福岡市立学校教員採用候補者選考試験を受験する者
- ※ 養護助教諭、栄養士代理職員、実習助手は対象外
- ・ 受講費は無料とする。

#### ③ 期間・回数

- 平成28年1月～平成28年3月 計5回とする。

#### ④ 講習について

##### ○講習当日の日程

	中学校・高等学校	小学校・特別支援学校
受付	8:30 ～ 9:00	10:00 ～ 10:30
全体研修	9:00 ～ 9:30	10:30 ～ 11:00
移動・休憩	9:30 ～ 9:45	11:00 ～ 11:15
グループ別研修	9:45 ～ 11:00	11:15 ～ 12:30

##### ○研修内容

- ・ 全体研修（中・高；9:00～9:30、小・特支；10:30～11:00）は教育委員会事務局指導主事等が学習指導や生徒指導等のテーマに基づいて講義をする。
- ・ グループ別研修は、指導員（退職校長等）の指導の下、小グループによる討議や演習を行う。グループ数は、小：9グループ、特：2グループ、中高：8グループ（国1、社2、数2、理1、英・技1、保体・家1）の計19グループとし、研修スタイルは「座学」「ワークショップ」「グループ討議」「演習」「ワールドカフェ方式」等から指導員が選択して行う。

【例 1】

- ・ 付箋紙でテーマに関する悩み等を記入
- ・ 班単位で情報や意見の交換
- ・ 各班からの報告，指導員からの指導助言

【例 2】

- ・ 事前に出された課題に基づき，付箋紙に意見を記入
- ・ 班単位で情報や意見の交換
- ・ 各班からの報告，指導員からの指導助言

【例 3】

- ・ テーマに基づき，模擬授業を実施
- ・ 各班からの報告，指導員からの指導助言

⑤ 修了認定等について

- 研修を受講し修了を認定された者には，「修了認定書」を授与する。
- 開講日に欠席した者の履修は認められない。ただし，やむをえない欠席については，1 回まで猶予する。なお，欠席者は教育センターホームページに掲載している全体研修の録画動画を視聴した上で，レポート作成し，次回の研修日までに研修・研究課に提出しなければならない。

⑥ 指導員について

- 指導員数は，小学校 9 名，特支学校 2 名中学校，高等学校 10 名（国 1，社 2，数 2，理 2，英・技 2，保体・家 1）とする。高等学校については教科の特性を考慮し編入する。
- 指導員の人選は，退職経 1 年以上の退職校長等の中から人選し，研修・研究課が依頼する。なお，欠員の場合は，退職経 2 年，経 3 年というように，経年の少ない退職校長等より人選を行い，研修・研究課が依頼する。
- 指導員に対する講師謝礼金については，別途規約により，退職校長の講師謝礼金にならうものとする。（4，8 千円／2 h）
- 指導員の主な業務
  - ・ 研修・研究課との連絡・調整
  - ・ グループ別研修の運営
  - ・ 研修で使用する資料の作成

＊資料は，研修 1 週間前までに研修・研究課に送付

  - ・ 研修生に対する指導全般
  - ・ 欠席者の把握・確認
  - ・ アンケート（感想・レポート）のチェック

○指導員連絡説明会

- ・ 平成 27 年 12 月 16 日（水）18：30 に実施し，研修概要の連絡や説明をおこなう。ま



た、質問・要望等を把握する。

#### ⑦ 研修・研究課の業務

##### ○全体の立案，企画，運営関係

###### ・事前

全体研修実施要綱，名簿やアンケート、進行要領の作成及び全体研修プレゼンの作成を行う（第1次案を12月上旬までに作成→指導員連絡会で配布）

###### ・当日

全体研修運営，進行、片付け・記録写真撮り（全体・グループ）・アンケート等受け取り・全体研修の録画等を行う。

##### ○事後

- ・ 全体研修ビデオの編集→ホームページアップ＜翌月曜日中＞（長崎）
- ・ 欠席者への連絡・資料送付

##### ○指導員関係

- ・ 指導員折衝，依頼，事務連絡
- ・ 「指導員連絡会」開催・運営
- ・ 資料印刷，綴じ合わせ

※ 謝礼金の支払い等，経理関係は，管理課が担当する。

##### ○その他

- ・ 教職員課との連絡・調整
- ・ 文科省とのやり取り・調査研究報告資料作成
- ・ 休日開講の勤務日の振替
- ・ 修了書作成→印刷依頼

※ 研修日当日、指導員に欠員が出た場合は、指導主事が代替する。

#### ⑧ 主なスケジュール

2月	校長会役員，退職校長会役員に骨子を説明
4月	校長全員に概略を説明
5月	福岡市立学校教員採用候補者選考試験説明会において，出席者へ案内（チラシ配布 500枚を教職員課へ）
6月	他府県教員養成塾視察（京都市・堺市）（6／30，7／1）
7月	1次試験受験者へ再度案内（していない）
9月	校長全員に詳細を説明（24日校長・園長連絡会）

	チラシ印刷（１３００枚を教職員課へ）→試験結果通知に同封してもらう
１０月	募集要項・申込用紙等をホームページに掲載 募集開始（２次試験合格発表後） ※講師試験の申込用紙と同封し教職員課へ→センターに送付してもらう 指導員依頼開始（～１１月中旬） センター内説明（２０日）全体研修プレゼン作成開始（～１２月上旬）
１１月	受講者決定
１２月	指導者連絡説明会（１６日）全体研修プレゼン資料も配付
１月	教員養成塾①（３１日） ※調査研究報告書の作成
２月	教員養成塾②③④（７日、２１日、２８日） ※調査研究報告書の作成
３月	教員養成塾⑤（１３日） ※調査研究報告書の完成・提出（文科省）

## ２ 教師塾の実際

No.	期 日	全体研修内容	グループ別研修内容
１	１月３１日（日）	○開講式 ○教育委員会講話 ○オリエンテーション	○福岡市立学校教員として必要な資質・能力について考える
２	２月 ７日（日）	○学級経営の基礎基本 （中・高…指導主事１名） （小・特…指導主事１名）	○望ましい学級経営について考える
３	２月２１日（日）	○学習指導の基礎基本 （中・高…指導主事１名） （小・特…指導主事１名）	○望ましい学習指導について考える
４	２月２８日（日）	○生徒指導の基礎基本 （中・高…指導主事１名） （小・特…指導主事１名）	○望ましい生徒指導について考える
５	３月１３日（日）	○所長講話 ○閉講式 （修了認定書授与）	○これまでの学びを振り返る

## 福岡市立学校教員養成塾 指導員 マニュアル

### 1 来所・連絡等

- (1) 研修当日は、研修30分前まで、教育センターに来所して下さい。
- (2) 控室は1階会議室です。(予定)
- (3) 急用等で指導できなくなった場合は、3日前までに、研修・研究課にご連絡下さい。  
TEL番号 092-822-2875

### 2 研修全般について

- (1) グループ別研修を担当していただきます。担当グループについては、【別紙1】をご参照下さい。
- (2) 研修で使用する資料がある場合は、研修日の2週間前までに、研修・研究課に送付下さい。

※ 送付方法は、郵送、巡回連絡、メール、いずれかをお願いします。

その際、印刷(部数・表裏・綴じ方等)をご指示下さい。

なお、印刷は「白黒印刷」になります。

- (3) パソコン等の機器や、付箋紙や模造紙、また教具などを利用する場合は、その旨も2週間前までにご連絡下さい。

○ 教育センターで準備できる機器 等

- ・プロジェクター          ・パソコン          ・DVDデッキ
- ・教材提示カメラ          ・付箋紙          ・模造紙          など

- (4) 研修場所以下の通りです。詳細は別途プリント(1/31配布)を参照して下さい。

- a) 全体研修          406研修室
- b) グループ別研修   1グループ10名程度

4 0 4 (54)	4 0 5 (36)	4 0 6	音楽準備室(8)		音楽研(20)		G 研研修室(6 人× 5)	
3 0 2 (54)	理科 1 (36)	理科 2 (36)	第 4 研(12)	第 6 研(6)	調理室(36)		体育準備室(12)	
2 0 1 ③×	2 0 2 ②×	2 0 3 (30)	2 0 4 (96)		第 1 研(6)		第 2 研(6)	第 3 研(20)
1 0 1 ①×	1 0 2 ②×	絵画研①×	合計 ( 4 9 0 )					

- (5) 全体研修後、再度、グループ別研修での出欠確認をお願いします。  
出欠表は、研修・研究課が準備します。
- (6) 研修生の座席は特に指定していませんので、グループ別研修の場でご指示下さい。
- (7) グループ内で、代表を1名決めて下さい。場合によっては班を作り、班長をおいてもかまいません。
- (8) 教育センターでは、研修の「始め」と「終わり」の“あいさつ”を行っています。  
代表に「起立・礼・着席」のあいさつを行わせて下さい。

(9) 研修中の休憩は各グループで設定して下さい。

(10) グループ別研修終了後、適宜解散となります。

解散前に、「アンケートの提出」「次回の予告」「レポート作成について」を連絡して下さい。

### 3 研修の具体について

(1) グループ研修は、全体研修のテーマに沿って行って下さい。全体研修のテーマは以下の予定です。

No.	期日	全体研修の内容
1	1月31日(日)	○開講式 ○教育委員会講話 ○オリエンテーション
2	2月7日(日)	○学級経営の基礎基本
3	2月21日(日)	○学習指導の基礎基本
4	2月28日(日)	○生徒指導の基礎基本
5	3月13日(日)	○所長講話 ○閉講式 (修了認定書授与)

(2) 研修スタイルは「座学」「ワークショップ」「グループ討議」「演習」「ワールドカフェ方式」等が考えられます。

#### 【例1】

- ① 付箋紙でテーマに関する悩み等を記入
- ② 班単位で情報や意見の交換
- ③ 各班からの報告、指導員からの指導助言

#### 【例2】

- ① 事前に出された課題に基づき、付箋紙に意見を記入
- ② 班単位で情報や意見の交換
- ③ 各班からの報告、指導員からの指導助言

#### 【例3】

- ① テーマに基づき、模擬授業を実施
- ② 班単位で情報や意見の交換
- ③ 各班からの報告、指導員からの指導助言

(3) 毎回、研修生に対して、研修レポート(様式有)を課しています。アンケートのチ

ェックと併せて、回収・点検・返却をして下さい。

#### 4 留意していただきたいこと

- (1) 「学校市立教員養成塾 指導員就業要綱」に基づき、公平・公正に対応して下さい。
- (2) 採用試験に関係する情報の提供や、職務上知り得た秘密を漏らすことはできません。
- (3) 「学校における個人情報取扱マニュアル」及び「機密文書の保護に関するガイドライン」に沿って下さい。
- (4) 特定の団体や機関に関わる内容に偏らないようにして下さい。
- (5) 福岡市立の学校教員を目指す者の姿として、望ましくない姿や言動が見られた場合の指導は行っていただいてかまいません。その際は、研修・研究課にご連絡下さい。